

2014年度入試結果について

2014年度学部入学者選抜試験の志願者数は、72,725人となり、昨年度と比較して9,494人（11.5%）減となりました。

今年も「地元志向」「安全志向」といった流れがさらに強くなっており、本学を含む首都圏の難関私大にとって厳しい状況が続いています。

2014年度の18歳人口は118万1千人で、昨年比95.9%（2013年度は123万1千人）と減少しており、さらに、今年度はいわゆる「ゆとり世代」の最終学年であり、次年度からは高等学校学習指導要領改訂後の新課程による入試が行われることから、「なんとか今年度で進学先を決めてしまいたい」という心理が働き、「安全志向」がより加速した傾向が見られます。

また、「地元志向」も強くなっており、首都圏の上位大学にチャレンジするよりも、確実に合格できる地元の大学を受験するという消極的な受験生が増える傾向にありました。

系統別では、「理高文低」の傾向が続いており、今年度は、東京オリンピックの開催決定や震災復興事業などの影響で、特に土木・建築系の人気が顕著でした。

一方で文系は国際・外国語系統が人気を集めたものの、法学系統の人気低下には歯止めがかかりませんでした。

本学の志願状況としては、「地元志向」の影響から一都三県からの志願者比率が年々上昇しており、2012年度に58.1%だった首都圏（一都三県）比率が今年度は62.4%となっています。

学部別の志願者数については、全学部で志願者を減らしており、特に法学部では、全国的な法学系統の不人気を反映するように本学においても志願者が減少しました。

ここ数年は全国的に社会科学系学部の募集力低下が目立っており、当該分野の系統の定員が多い本学をはじめとする首都圏の私立大学は全般的に苦戦の傾向にあります。

2014年度中央大学入学試験志願者数(地区別)

	2014年度	2013年度	増減数	比率
北海道	2,123	2,204	△81	96.3%
東北	3,287	4,061	△774	80.9%
関東	49,918	55,808	△5,890	89.4%
甲信越・北陸	4,391	5,038	△647	87.2%
東海	5,142	6,349	△1,207	81.0%
近畿	1,868	2,011	△143	92.9%
中国	1,471	1,628	△157	90.4%
四国	860	919	△59	93.6%
九州	3,040	3,510	△470	86.6%
その他	625	691	△66	90.4%
合計	72,725	82,219	△9,494	88.5%

学生募集に向けた取り組み

2014年度入試において志願者が大きく減少した結果を踏まえ、入試政策審議会において2015年度入試に向けての学生募集基本方針を以下の通り決定しました。

これらの基本方針、目標の達成に向けて学生募集専門員（進学アドバイザー）を中心に以下のプロジェクトを設け、学生募集諸活動を展開していきます。

【2014年度(2015年度入試)学生募集基本方針】

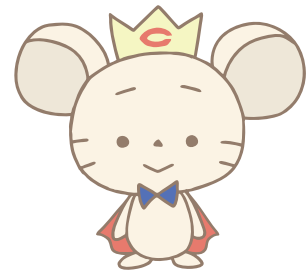
- (1) 「全国型大学の堅持」
- (2) 「志願者の量的回復および質の充実」
 - ① 「首都圏の受験生確保」
 - ② 「首都圏周辺部とりわけ北関東および甲信越地区の重点化」
 - ③ 「中部地区における認知度向上とりわけ東海の重点化」
 - ④ 「実志願者数」（「願書枚数」および「入金者数」）の向上
 - ⑤ 「高校指数上位校からの志願者確保」
 - ⑥ 「優秀な女子学生の獲得」
- (3) 「グローバル人材育成推進の方向性に合致する人材の獲得」
 - ① 「海外からの優秀な学生の獲得」
 - ② 「国際理解力の基礎的素養を備えた学生の獲得」
- (4) 「理数系の基礎学力に優れた学生の獲得」

【特定課題プロジェクト】

- 上位校・理数系プロジェクト
- 保護者向けプロジェクト
- 女子学生獲得プロジェクト
- グローバル系プロジェクト（国外、国内）
- 「チュー王子」（※）活用プロジェクト

【エリアプロジェクト】

- 北海道・東北プロジェクト
- 北関東・埼玉プロジェクト
- 東京東部・千葉プロジェクト
- 東京西部・神奈川プロジェクト
- 甲信越・北陸プロジェクト
- 東海・近畿プロジェクト
- 中国・四国プロジェクト
- 九州プロジェクト



※「チュー王子」
中央大学の学生募集
マスコットキャラクター

大学案内誌「CHUO Concept」、各学部ガイドブック等の資料を無料で配布

column

中央大学入学センターでは、大学案内誌「CHUO Concept」や各学部ガイドブック等の資料を無料でお届けしています。中央大学に関心を持っていたり、受験を考えている方は、是非ご請求ください（以下のサイトより資料請求できます）。
https://betweenweb.jp/net_kun/4041
なお、電子書籍アプリ『白門書房』からも、全ページダウンロードできます。

